

第10回地域活性化・人手不足対応WG 自動運転の推進に向けた規制等の運用の円滑化



Turing株式会社

2026.5.14



Co-Founder, CEO

山本 一成

将棋AI「Ponanza(ポナンザ)」を10年開発して、
最終的に将棋名人を倒す

日本でもっとも巨大な産業である自動車産業xAIとして
自動運転を選び、次のチャレンジとした。ミッションは
「We Overtake Tesla (テスラを超える)」





E2E自動運転（フィジカルAI）を内製開発する日本のスタートアップ

会社概要

代表取締役:	山本一成
創業:	2021年8月
本社:	東京都大田区平和島
従業員数:	約100名（アルバイト含む）
累計調達額:	240億円

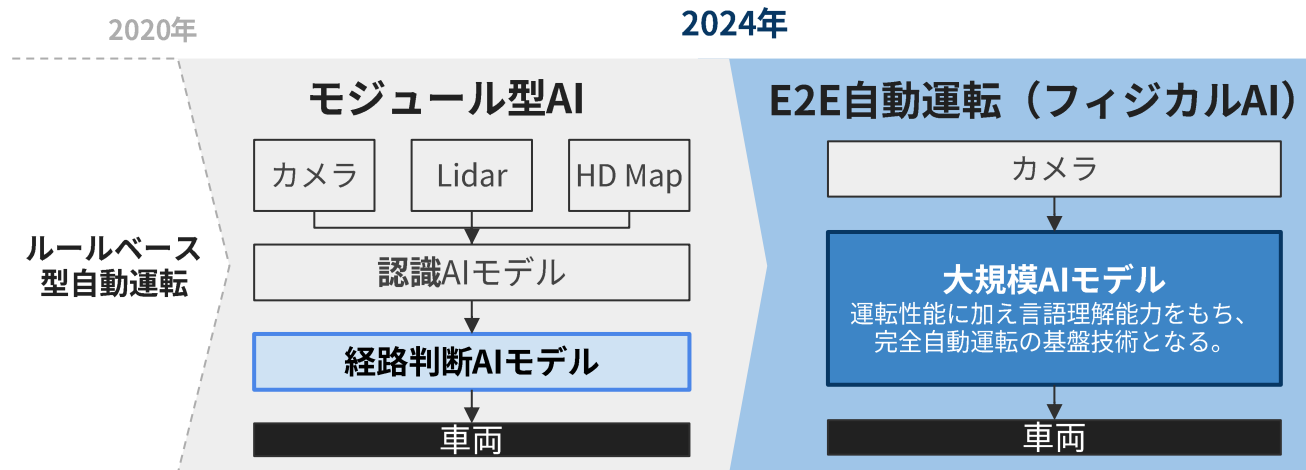
強み

- 2021年からE2E自動運転にフルコミット
- 優秀なAI人材が多数所属
- 大規模計算資源の構築・運用ノウハウ
- Geniac3 期連続採択 / E2E安全論証PJ推進中



Turing平和島ラボ前景

自動運転は「E2E」に不可逆の変化が進む



フィジカルAIとは？
生成AIを基盤に、言語・画像などの理解生成能力を現実世界の認識と制御に拡張したAI。この技術の延長上に完全自動運転の実現が見込まれる。E2E自動運転はフィジカルAIの特徴を併せ持っている。

2024年のTesla FSDを皮切りに先進EVメーカーでE2E自動運転の搭載が開始



Tesla 165万台



Xpeng 43万台



LiAuto 40万台

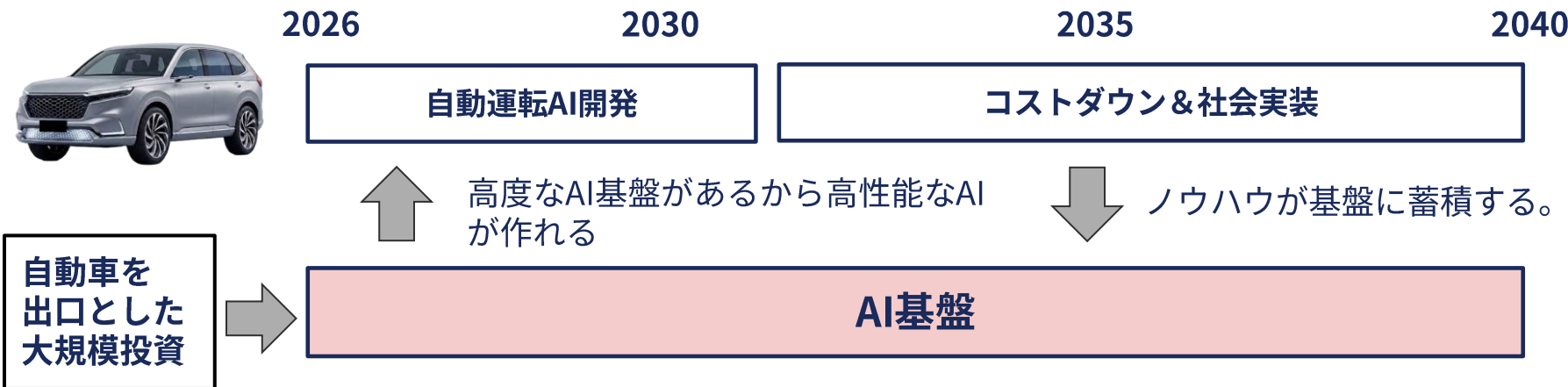


Huawei x 中国OEM 56万台

E2E自動運転は、日本にAI基盤を築く最大の量産案件



自動車は世界市場300兆円を超える巨大市場。将来、道路を走る車両の大部分が自動運転AIで動く時代が到来する。

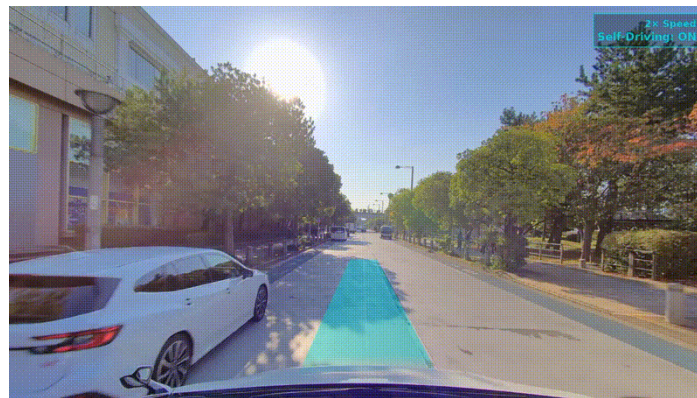
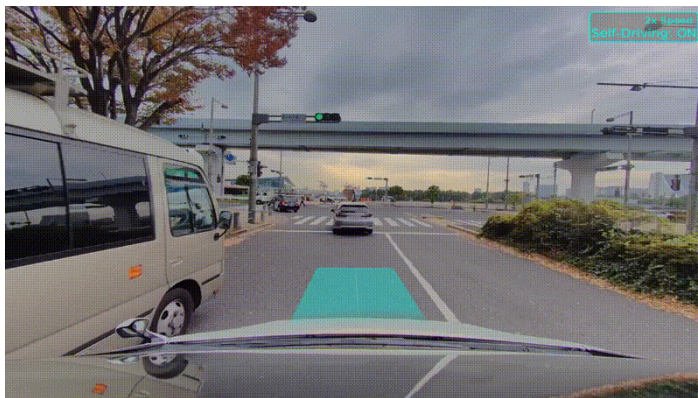


道路交通の大部分を自動運転AIが担う時代において、**国産AI基盤を持つことは経済安全保障上、極めて重要**

お台場でE2Eモデルを検証



大量のデータで学習したE2Eモデルがクリアしたシナリオ。





動画共有（3分34秒）

URL :

<https://www.youtube.com/watch?v=iS9BWUusz8CI>



1. 自動運転技術の開発スピードは高速化し、今までになかった技術が日々生み出されている状態。今までになかった技術を用いた取組になることを踏まえて、自動車関係事業者やシステム関係事業者の声を踏まえて、事業者に過度な負担がかからない形が必要だと考えます。
2. 自動運転システムの評価については新しい基準を作るのではなく、**道路交通法を遵守の上で、有能で注意深い人間の運転者**（Competent and careful human driver）を基準とすることが望ましいと考えます。
3. L2++の認定制度については、AIを活用した自動運転システムの社会普及に寄与する制度であると考えます。

TURING